

令和4年度 第1回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 令和4年7月20日（水）午後3時00分～午後4時30分
- 【場 所】 大牟田市生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 堤委員、篠原委員、堺(婦)委員、野田委員、松尾委員、田中委員、江崎委員、後藤委員、栗崎委員、安元委員、柿川委員、堺(裕)委員
- 【欠席委員】 長尾委員
- 【行政関係者】 坂井市民協働部長、大倉野市民協働部副部長、徳川生涯学習課長、村上生涯学習課地域学習担当課長、平田人権・同和・男女共同参画課長、徳永スポーツ推進室長、音光スポーツ推進室主幹、浦川同課社会教育主事、森同課社会教育振興担当

◆委嘱状交付

今回は、委員の一斉改選の年に当たり、全委員に委嘱状を交付。
任期は、令和6年6月30日までの2年間。

◆自己紹介

令和4年度名簿順に社会教育委員及び行政関係職員の自己紹介。

◆あいさつ

坂井市民協働部長

◆社会教育委員の会議について

配布資料『社会教育法』P1～P6に基づき事務局から説明。

◆議長・副議長の選出について

委員互選により、議長：堺(裕)委員、副議長：江崎委員

◆福岡県社会教育委員連絡協議会評議員について

堺(裕)委員…福岡県社会教育委員連絡協議会評議員は2年間の任期で、昨年度から引き続き「堺(裕)委員」に就任していただく。

◆議 題

1 令和3年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和4年度事業計画（案）について

（報告）

配布資料『第1回社会教育委員の会議』P3～P6に基づき、事務局が説明。

本年度第2回の議題について、委員提案の「社会教育委員と行政職員との意見交換(仮)」と事務局提案の「コミュニティスクール、小中一貫教育などの教育委員会の動き」の2案の趣旨を説明し、以下の意見・質問が出された。

議長	今、事務局より第2回社会教育委員の会議議題について提案があったが、「意見交換」と「教育委員会の動き」のどちらがいいか、皆さんの意見を伺いたい。
委員	この件について、私から「社会教育委員と行政職員の意見交換を行ってもいいのではないか」と提案していたが、子どもたちが色々な活動をしていく中で、子どもたちをどう社会として助けていくか大事なので、「教育委員会の動き」を聞いてもいいのではないかと思う。
議長	「意見交換」をするにしても、何かテーマが必要となってくると思う。
委員	社会教育委員の皆さんは、いろんなところで活動なさっている方ばかりなので、その中で子どもたちと関わっていくことが多いと思う。 「教育委員会の動き」を聞くことで、いろんな形で助言ができたりすることができるので、知識として知っておくことは必要だと思う。
議長	「行政職員との意見交換」について、こういうことをしたいとか構想がある委員の方はおられますか？
委員	「教育委員会の動き」を聞くことでよろしいかと思います。
議長	昨年、指導室の小宮室長からSDGsについてお話いただいたことが記憶に新しいと思います。特段「行政職員との意見交換」について、意見がないということでありましたら、昨今の状況を踏まえ「教育委員会の動き」の話を受けるということによろしいか？
委員	一同異議なし

2 社会教育振興プラン 2020～2023 について

配布資料「大牟田市社会教育振興プラン 2020～2023」および「令和 3 年度社会教育振興プランの実績」に基づき、大倉野副部長から説明。

以下、下記の意見が出された。

議長	事務局からの説明について、質問等はありませんか？
議長	「将来大牟田市のために役に立ちたいと思う高校生等の割合」が 50%の理由として、将来大牟田市に住むかどうかかわかないという説明だったが、令和 2 年度は 77.8%と高かったわけで、このときの高校生は将来大牟田市に住むと言うことを決めていたということか？
事務局	令和 2 年度と令和 3 年度で回答した数が、令和 2 年度は 23 人、令和 3 年度は 10 人しかおらず、その中の 23 人にたいして聞いた意見と、令和 3 年度はコロナで参加を見合わせる者が多くて、10 人という非常に少ないパイの中で聞いたので 50%になっている。また「役に立ちたい」と言う意味の捉え方が、大きく変化はしていないと思うが、令和 3 年度はより真面目に捉えて答えたのではないかと思う。高校生の細かい心情までは確認できていないが、意味の捉え方を確認していきたいと思う。 また、指標に合わせて、違う聞き方をしたうえで分析ができるようにしていきたいと思う。
議長	数値が低かったからといって、「大牟田のために…」という実態は変わらないのに質問が変わって（数値が）上がったということであれば、これは正確なこちらが意図していること、管理していることにはならないのではないかと思うが……。
事務局	まちづくり体験事業に取組んだ高校生の感想から「参加して良かった」という答えが返ってきていることは事実だが、卒業した後とか、これからの将来の中でどう大牟田にどう自分に関わるのかは、高校生にはわかりにくいなかで聞いているので数字が出てきている。聞き方や将来のビジョンがもう少し捉えられたのかを考えてもらったうえで、体験事業に参加して回答してもらうのは一考ではないかと考えている。 結果的にそれをどう活かしていくかの質問の指標として、高校生へは結果として伝わっていない。結果として数字をもらえていないので、継続的にやっていきたい。
議長	令和 2 年の 77.8%のときは伝わっていたということか？
事務局	伝わっていると思う。
議長	母数が 23 人だったとか 10 人だったからということで、参加者の性質が違ったということなのか？
事務局	そうですね。そのあたりもあつたのかもしれません。
議長	まずは母数を上げることがさきですね。
事務局	今年（令和 4 年度）は 14 名の参加となっているので、なかなか令和 2 年度の 20 名を超える参加数にはなっていない。参加する子どもたちを集めるのが課題だと捉えてい

	る。
議長	この事業というのは取組 2 のことですか？
事務局	取組 2 の 8 番です。 この事業に参加した高校生のアンケートが、数字に反映している。
委員	この事業の実行委員会は何回かするの？
事務局	実行委員会は大きくは二つ事業をするようにしている。一つは地域に行き、魅力を再発見しようということで「青春（あおはる）ウォーク」というウォークを実施している。もう一つは総合発表会を行っている。高校生がウォークについてはどういう地域をどういうコースで歩くかを小・中学生と一緒に体験するという企画と、もう一つは部活や高校生の中で秀でた、みんなに紹介できるものを発表する「高校生総合発表会」を予定していたが、令和 3 年度もウォークを実施できたが、総合発表会はコロナの関係でできなかった。会議も年間 9～10 回行うが、結局はこの半分ぐらいの回数だった。
委員	ウォークに参加する高校生と会議（実行委員会）に参加する予定だった高校生は同じなのか？
事務局	ウォークに参加する高校生は、実行委員会に参加している高校生である。
事務局	この指標を設定したとき、何も「大牟田に一応は住んでね」とか「大牟田で頑張っ てね」とかを求めていたわけではなく、大牟田の良いところを分かってほしい、愛着を深 めてほしい、大牟田を一度外に出てもまた戻ってきてほしい。そういう意味を込めてこ ういう指標を設定した。高校生達がアンケートを回答するときに思っていることと、私 たちが当初指標を設定したときの見識がちょっとずれていたのかなと感じる。なぜこ ういう指標を作ったのか高校生へ伝われば、アンケートの結果も活用できるのではない かと思っている。ご指摘のように、母数が少ないとどうしても偏ってしまいます。参加者の少 数の意見が表に出でしてしまう。参加してくれる母数を増やすことが大事なことは認識 している。
議長	この数字の解釈がどうなのか？そもそもこちらの意図と高校生の認識が違っていた ということであれば、そもそもの計画が違っていたということになる。比較のしようが なくなる。
事務局	わかりやすい言葉で、高校生にも伝わるようにして、同じことを書くにしても普通に 考えることが必要なのかと思う。

3 令和 4 年度社会教育・生涯学習事業計画

令和 4 年度社会教育生涯学習機関等事業計画について

配布資料に基づき、大倉野副部長、浦川社会教育主事から説明。

以下、下記の意見が出された。

議長	社会教育・生涯学習計画の高校生まちづくり体験事業では、ウォークと発表と高校生自ら企画実施する事業の三本柱ということによろしいのか
事務局	<p>地区公民館の方で、例えば吉野地区公民館で、大牟田北高等学校やありあけ新世高等学校が近くにある。高校生自ら企画実施する事業については、地区公民館で高校生がボランティアで小中学生へ書道を教える。文化会館で行われる1月のダンスチャレンジに出場するためのダンスを教えてもらうというものに取り組んでいる。</p> <p>事業としてはウォークと発表の部分を生涯学習課の次世代担当で行っている。No.19とNo.20は高校生が実行委員会を開き、事業を行う。No.21は高校生の得意な分野で小中学生へ教えると、大きく2つに分かれている。</p>
議長	生涯学習課がNo.19とNo.20、公民館がNo.21を行っているということで理解する。
委員	最後に高校生達がふりかえりや発表会・報告会をする機会に、私たちも行かせてもらいたいと思うが、そういう機会はあるのか。
事務局	コロナ禍ということもあったので、高校生がやったというのをA3の表示したものを用意して、それを開示させていただくという形で、報告会までは行っていない。
委員	高校生達が頑張っている姿を、私たちも見たいと思っている。そういう機会があつてよいのではないか。
事務局	発表会は今年度は実施したいと準備を始めているので、そういう機会を設けていきたい。高校生たちも、そういう場があると励みになると思う。
議長	では、今後（社会教育委員が見させていただく）機会を設けていただくということで、承認としてよろしいか。
委員	異議なし
議長	発表が無くなって割合が減ったということであれば、それが原因かどうかは分からないが、その発表はすごく意味があるのではないかと考えられるのではないか。
事務局	令和2年度も3年度もやれていないので、発表会をすることによっての高校生の達成感はあると思う。
議長	そこも踏まえて、今後の展開を考えていただければと思う。

◆その他

- 1 ありあけ圏域電子図書館について徳川生涯学習課長から説明。

2 (仮称)総合体育館整備の進捗について音光同室主幹から説明。

以下、下記の意見が出された。

委員	省エネ効果の高い輻射式空調がアリーナの方にあるが、他にエアコンはないのか？
事務局	卓球場、アリーナの観客席部分にエアコンはあります。通常のエアコンは空間全体の温度を上げたり下げたりするものだが、輻射式というのは光のように直線的に伝わるような空間しか冷やさない。エアコンは観客席では上の部分のみである。
委員	夏は涼しく冬は暖かくなるのか
事務局	なります。会議室および柔剣道場については通常のエアコンを採用している。
委員	総合体育館のバスケットボールのコートは何面とれるのか？県民体育大会とか県から来られる場合もある。現在の市民体育館では2面使用できるが、多目的ホールを使って競技ができるのかな?と思った。
事務局	新しい総合体育館ではバスケットボール4面とれる。
委員	アリーナでの大きな競技会では、選手や観客を含めて相当な人数が入っていると思われるが、非常時の避難などについてどのような対策をとっているのか？
事務局	出口は十分に用意している。人数に応じて避難口を用意しておかねばならないことが法令等に規定されている。
議長	「インクルーシブ遊具」とはどういったものか？
事務局	「インクルーシブ」とは、障がいがある子と障がいがない子が一緒に遊べる新しい考え方である。東京都などで導入が進んでいる。そのような遊具を設置する。

3 「成人式」に代わる名称について、村上地域学習担当課長より口頭説明。

4 施設予約システムの進捗について、大倉野副部長より前回アンケートのお礼と口頭説明。

5 令和4年度南筑後地区社会教育委員交流会の開催について、浦川社会教育主事より説明。

参加希望の委員については、7月末日までに事務局へ報告をお願いします。

6 令和4年度社会教育主事講習(九州大学)現地研修受入と派遣について、浦川社会教育主事より口頭説明。

7 昨年度、勝立地区公民館で講師を務めた「勝立よかもん物語」の成果物のパンフレットを配布。

柿川委員より説明。

⇒ 第2回会議 令和4年11月 予定